

平成22年7月15日(木)
静岡新聞掲載

本紙単独インタビュー詳報

細野 豪志氏

民主党の細野豪志幹事
長代理は14日、都内で静
岡新聞の単独インタビュ
ーに応じ、参院選敗北の
要因や今後の国会対応な
どについて語った。主な
一問一答は次の通り。

代表選までは現体制

参院選は大敗した。

「厳しい結果だ。敗因を
しっかりと分析しなけれ
ばならない。与党として
国政を預かっている以
上、ねじれ国会の中でど
う政策を実現していくの

消費税を議論する中で社
会保障をしっかりと確立

消費税を議論する中で社
会保障をしっかりと確立

するといふ真意が伝わら
なかった。われわれに甘
さがあつた」

「総括はどのように行
うのか。」

「すべての都道府県連
や候補者から見解を聞き
て、できれば月内にまと

めたい。最終的な取りま
とめをする前に両院議員
総会を開き、皆さんの意
見を聞く」

「選挙が終わった直後
人が出て論争すればいい。
(ここで首相を代え
ることがいいのかどうか
は投票する) みんなが判
断する」

「閣僚や党人事は代表
の専権事項。注文を付け
ることはない。党内には
多彩な人材がいるから、
いろんな人に活躍しても
らうことは大事だ」

「自身は代表選に出馬
する意思は。」

「それはない」

「無投票がいいとは必
ずしも思わない。出たい
塩見和也」

「選挙の実務に直接的

「選挙の実務に直接的

「ねじれの打開策は。」

「ねじれの打開策は。」

「無投票がいいとは必

「無投票がいいとは必

「それはない」

「それはない」

「聞き手」東京編集部

「聞き手」東京編集部